

取扱い上の注意

① 取扱いは慎重に

顕微鏡を運搬するときや各部の操作の際は、衝撃を与えないよう慎重に取り扱って下さい。

② 使用場所

振動の少ない所に設置し、直射日光の当たる所やほこりの多い所、高温・多湿の場所での使用は避けて下さい。

③ レンズの清掃

レンズの清掃は、ほこりを柔らかい毛筆（刷毛）で払うかレンズペーパーをご使用下さい。指紋または油類の汚れの場合のみ、柔らかい清潔な木綿布・レンズペーパー・ガーゼに無水アルコール（エタノール・メタノールのどちらでも可）をわずかに含ませて、レンズを拭いて下さい。アルコールは引火性が高いので、取扱いには十分注意して下さい。

④ 使用しないとき

使用しないときは、湿気が少なくカビの発生しにくい場所に保管して下さい。

ケニス顕微鏡 JLS・FK-S 保証書

本製品は、当社の厳密な検査に合格したものであることを証明し品質の保証を致します。万一ご購入年月日より 5 年以内に当社の責任と認められる故障を生じた場合は、本保証書を提示くだされば、保証規定により無償修理を致します。

ご購入年月日： 年 月 日

ご 購 入 者：氏名

住所

販 売 店：氏名

住所

※必ず販売店の捺印を受けて下さい。その際、ご購入年月日をご記入下さい。

〔保証規定〕

- 修理の際は必ず本保証書を添付の上、お申し付け下さい。ご提示のない場合は、本保証書の無料修理の有効期間内でも有料となります。
- 本保証書の無料修理期間後は、有料修理となります。
- ご購入店名、ご購入年月日、ご購入者氏名・住所の記入のない場合、及びそれらを訂正した場合は無効となります。
- 故障原因が次の場合は、保証範囲の枠外となり有料となります。
 - ①乱用または使用法の誤りによる故障
 - ②天災・火災・地変等による故障
 - ③当社以外での修理改造・分解清掃等による故障
 - ④ショックまたは加圧、並びに保管上の不備による故障
 - ⑤その他、上記各項に準ずる場合
- 接眼レンズ・対物レンズのカビ・傷・汚れ、AC アダプタの断線、反射鏡・外付け光源、メカニカルステージ、収納ケース 又はランプ・電池等の消耗品類及びそれらに起因する故障または損害には本保証書は適用されません。
- 修理品の運賃・諸掛り費用は、お客様にてご負担願います。
- 本製品の故障に起因する付随的損害については、補償致しかねます。
- 日本国外へ持ち出された場合は、本保証書は適用されません。

※修理に際しましては、修理箇所と内容を明確にご提示下さい。

※保証書は紛失されましても再発行は致しませんので、大切に保存して下さい。

2204TY ver03

ケニス顕微鏡 FK-S

この度は、**ケニス** 顕微鏡をお買い上げ頂きありがとうございます。
顕微鏡を正しくお使い頂くため、この取扱説明書をお読み頂きますようお願い申し上げます。

各部の名称



特 長

- 反射鏡・高輝度 LED 光源・クレンメル・メカニカルステージなどを用途に合わせて選択できる生徒実験に最適な生物顕微鏡です。
- FK-LS・FK-LMS は光源として反射鏡と高輝度 LED 光源が付属しており、自由に取り換えが可能です。また、FK-LMS はメカニカルステージが付属しており、クレンメルとメカニカルステージの取り取り換えが可能です。
- FK-S-CN には格納ケースが付属していません。

仕 様

型 式	FK-400S	FK-600S	FK-400LS	FK-600LS	FK-400LMS	FK-600LMS
総 合 倍 率	40～400×	40～600×	40～400×	40～600×	40～400×	40～600×
接眼レンズ	広視野WF10× 視野数：18	広視野WF10× 視野数：18 広視野WF15× 視野数：13	広視野WF10× 視野数：18	広視野WF10× 視野数：18 広視野WF15× 視野数：13	広視野WF10× 視野数：18	広視野WF10× 視野数：18 広視野WF15× 視野数：13
対物レンズ	4× 10× S40× DIN規格					
鏡 筒 形 式	単眼45°傾斜鏡筒 360°回転 鏡筒長160mm					
焦 準 装 置	粗動ハンドル (スリッパハンドル機構付) ステージストッパー機構付					
絞 り	回転板絞り					
ス テ ー ジ	角型固定 (スプリング付クレンメル)				角型固定 (スプリング付クレンメル) / メカニカルステージ	
照 明 装 置	平面・凹面鏡		平面・凹面鏡/高輝度LED光源装置 (単4電池×2) 強弱切換式			
付 属	ダストカバー ケース (195×430×325mm)					

(※FK-S-CNIにはケースが付属していません)

ケニス株式会社

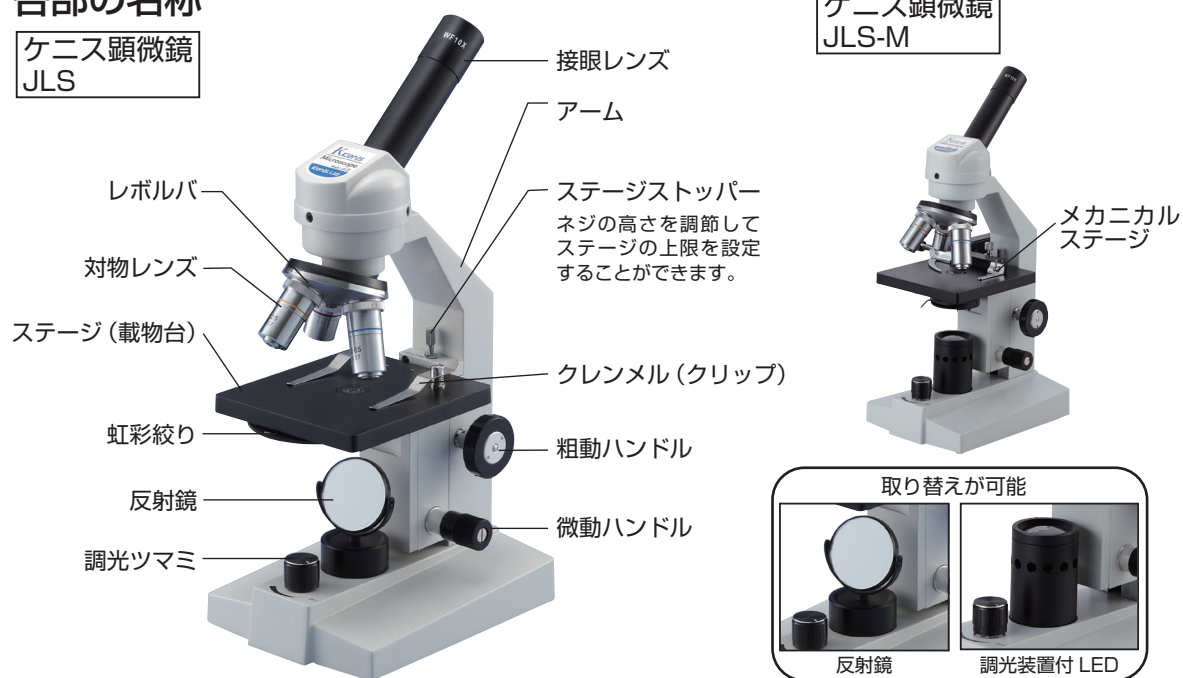
※商品についてのお問い合わせは「kikaku@kenis.co.jp」までお願いします。

ケニス顕微鏡 JLS

この度は、**ケニス** 顕微鏡をお買い上げ頂きありがとうございます。
顕微鏡を正しくお使い頂くため、この取扱説明書をお読み頂きますようお願い申し上げます。

各部の名称

ケニス顕微鏡
JLS



特 長

- 充電式生物顕微鏡で付属の AC アダプタで充電することができます。光源は調光装置付で、常に最適な光量で観察することができます。
- 充電電池はモニター電池となっています。また充電電池の寿命は約 2 年間です。充電を行っても点灯時間が短くなってきた場合は底板を外し市販の充電電池単 3 × 3 本（別売）と交換して下さい。

仕 様

型 式	JLS-400	JLS-600	JLS-400M	JLS-600M
総合倍率	40～400×	40～600×	40～400×	40～600×
接眼レンズ	広視野WF10× 視野数：18	広視野WF10× 視野数：18 広視野WF15× 視野数：13	広視野WF10× 視野数：18	広視野WF10× 視野数：18 広視野WF15× 視野数：13
対物レンズ	4× 10× S40× (DIN規格)			
鏡筒形式	単眼45°傾斜鏡筒 (JIS) 360°回転 鏡筒長160mm			
焦準装置	粗動ハンドル (スリップハンドル機構付) 微動ハンドル ステージストッパー機構付			
絞 り	虹彩絞り			
ス テ ー ジ	角型固定 (スプリング付クレンメル)		角型固定 (スプリング付クレンメル) / メカニカルステージ	
照明装置	平面・凹面鏡/高輝度LED光源装置 (充電電池単3×3) 調光装置付			
大 き さ	140×180×370mm 約2.6kg			
付 属	充電用ACアダプタ ダストカバー ケース (200×430×350mm)			

(※JLS-CNIにはケースが付属していません)

■ 反射鏡・光源装置の取付け方法 (JLS)

- LED 光源装置を左回りに回転させ取り外します。このとき顕微鏡本体内蔵の LED 及び基盤を傷つけないようにご注意ください。(図 1)
 - 平面鏡の下部を持ち右回りに回転させ取付ます。平面鏡上部を回して角度を調整します。(図 2)
- ※ 取付時に締めすぎないで下さい。取り外しにくくなったり破損の原因となります。
- ※ 直射日光下では使用しないで下さい。



図 1

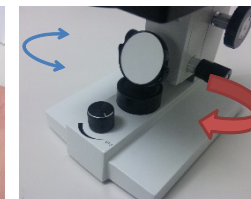
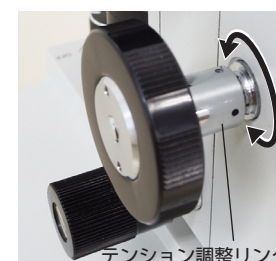
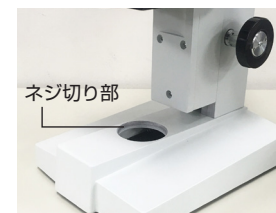


図 2

■ 反射鏡・光源装置の取付け方法 (FK-SL)

- 反射鏡はネジ切り式です。黒いベース部を回転させて取り外して下さい。
 - 反射鏡を取外したら、高輝度 LED 光源装置を固定して下さい。
 - 固定後、光源装置の上部のみを回転させ、電源スイッチをお好みの位置に移動させて使用して下さい。
- ※ 光源装置を強く絞めすぎると取外しにくくなりますので、若干の余裕を残して取付けて下さい。
- ※ 長期間使用しない場合は、電池を抜いて下さい。



■ 粗動ハンドルテンションの調節方法 (右図参照)

- 粗動ハンドルの固さを調節したい場合は、テンション調整リングを使います。
 - 付属のテンション工具先端のフック部を、テンション調整リングの穴に引っ掛けて回し、固さを調整します。
 - 使いやすい固さに調整後、テンション工具を外します。
- ※ ステージが勝手に下がる症状も、テンション調整リングを締める事で改善される場合があります。



■ 顕微鏡の充電について (JLS のみ)

＜充電方法＞

- ① 顕微鏡の背面にある AC アダプタ接続部と、付属の AC アダプタを接続します。
 - ② AC アダプタをコンセントにつないで充電が開始されると、AC アダプタのパイロットランプがオレンジに点灯します。
 - ③ 充電時間は電池残量により異なりますが、フル充電の場合 6 ～ 8 時間で充電が完了します。
 - ④ 充電が終了しますと、AC アダプタのパイロットランプがグリーンに点灯します。
- ※ 長期間使用しない場合は、電池を抜いて下さい。

＜充電電池の交換方法＞

- ① 顕微鏡の底面に本体と底面を固定するネジがありますので、+ドライバーを使ってネジを外します。
 - ② 底面を開けると電池ボックスがありますので、電池ボックス内の充電電池を交換して下さい。
 - ③ 充電電池交換後は、底面ネジで固定して使用して下さい。
- ※ 充電電池は⊕⊖を逆にして使用しないで下さい。また乾電池を使用しないで下さい。
- ※ 新旧の充電電池、容量、種類、銘柄の異なる充電電池を、混ぜて使用しないで下さい。
- ※ 付属の充電電池はモニター電池となっています。約 2 年で寿命となりますので、点灯時間が短くなってきた場合は底板を外し、市販の充電電池単 3 × 3 本（別売）と交換して下さい。また、照明がチラつく場合は、フル充電して下さい。

K ケニス株式会社
Kenis

※商品についてのお問い合わせは「kikaku@kenis.co.jp」までお願いします。